

ぱど

# 子どもの習い事・スクール事情 「小学生」編



- アンケート対象：中学生以下のお子さまを持つぱど読者769名のうち、小学生のお子さまがいる読者424名
- アンケート方法：インターネットアンケート
- 調査期間：2019.05.15～26

## 小学生スクール選び POINT

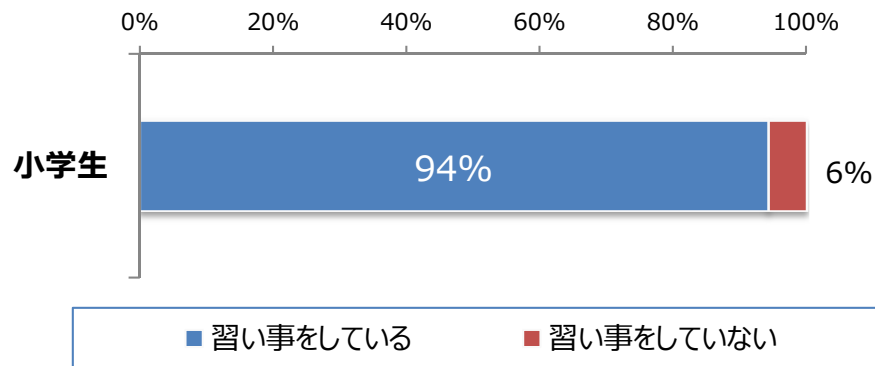
1. 現在、習い事をしている小学生の子どもを持つ回答者は94%。習い事の数「1つまたは2つ」、通う回数は「月に3～4回」、または「5回以上」。予算は「月に7,000円～10,000円未満」がやや多く、次いで「月に5,000円～7,000円未満」。
2. 最も多い習い事は、「スポーツ系」64% 次いで「知育・塾系」35%(※小学4～6年生は41%)。各習い事で保護者が願う子どもの成長部分最上位は系統で異なるが、「礼儀」「忍耐力」「友達をたくさん作ってほしい」は全学年共通項目。
3. 現在通っているスクール・教室を決めたポイントは「お試し・体験レッスン・授業があった」「子ども自身がその教室を気に入った」「家から近かった」。親だけでなく、子ども自身が自主的に行きたいと思えるか？を体験でともに確認しています。
4. 子どものスクールを選ぶ際は、かなり詳細まで事前にチェック！①「通常レッスンの進め方」②「先生(スタッフ)の雰囲気」③「お試し・体験の有無」④「振替制度」⑤「通常料金」⇒ 通常の内容をある程度把握してから、体験に行っていることがうかがえる。
5. 新たに習い事をさせてみたいと思う保護者は、今習っている子では43%、習っていない子では41%。習い事をさせるのによいと思う時期は、春休み41%、夏休み31%、4月28%の3回が高い傾向に。
6. 補足：中学生になると、習い事の数減り、内容は「塾系」に偏ってくる。

※一部結果を小学1～3年生、4～6年生で分けています。

**Point 1**

現在、習い事をしている小学生の子どもを持つ回答者は94%。習い事の数には「1つまたは2つ」、通う回数は「月に3～4回」または「5回以上」。予算は「月に7,000円～10,000円未満」がやや多く、次いで「月に5,000円～7,000円未満」。

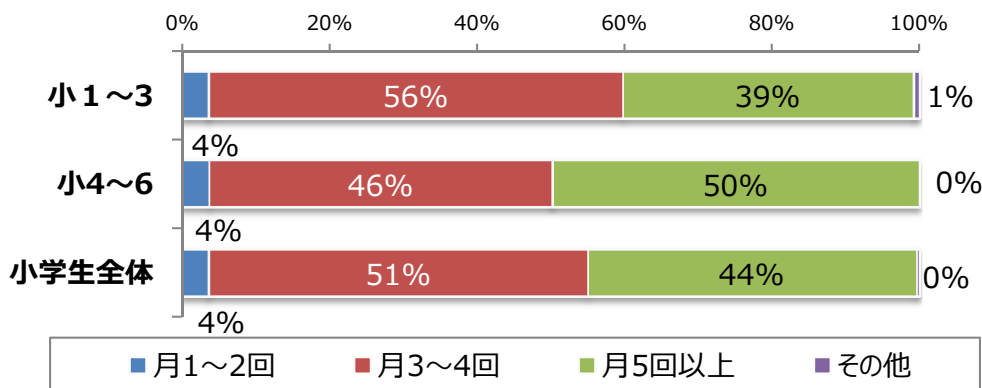
【グラフ1：現在、お子様は習い事をしてますか？】



(N：小学生の子どもがいる回答者（保護者）数424)

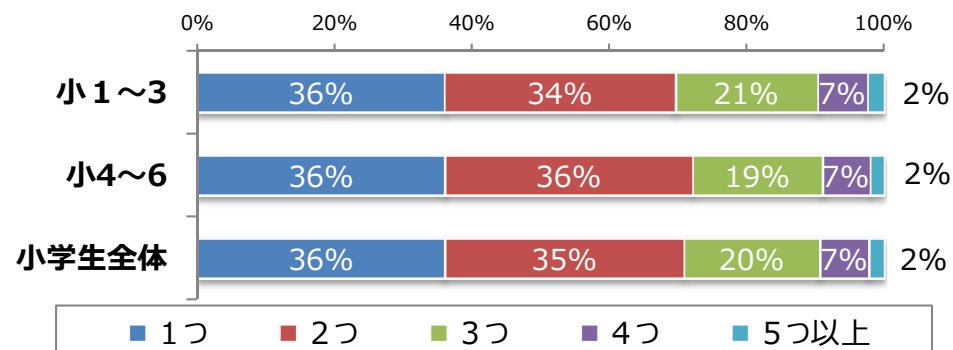
回答者の小学生の子どもは、**94%**が習い事をしています。

【グラフ3：月に何回通っていますか？】



回数は全体では、「**月3～4回**」と「**月5回以上**」でほぼ分かります。小学4～6年生になると「**月5回以上**」の割合が増えてきています。

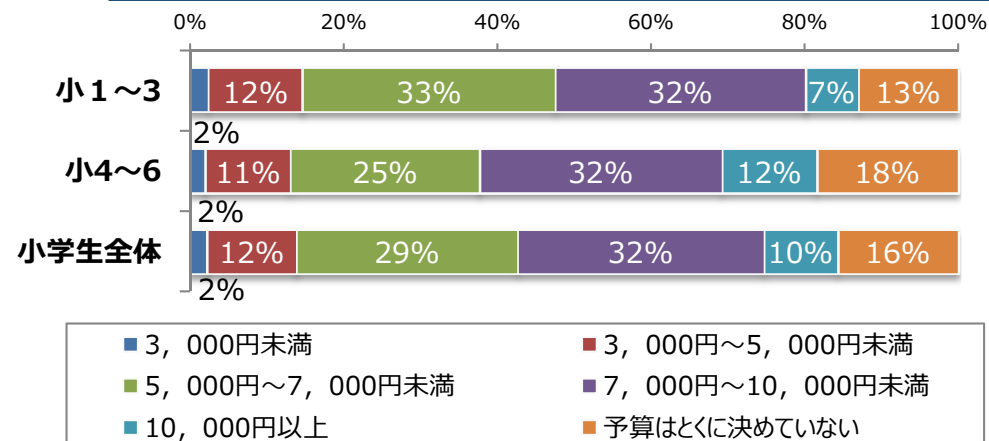
【グラフ2：習い事をいくつしていますか？】



(N：習い事をしている小学1～3年生247人/4～6年生244人)

習い事の数には全体では、「**1つ**」が**36%**、「**2つ**」が**35%**。小1～3、小4～6と学年で分けても大きな差はありません。

【グラフ4：習い事の月予算(1つあたり)はどれくらいですか？】

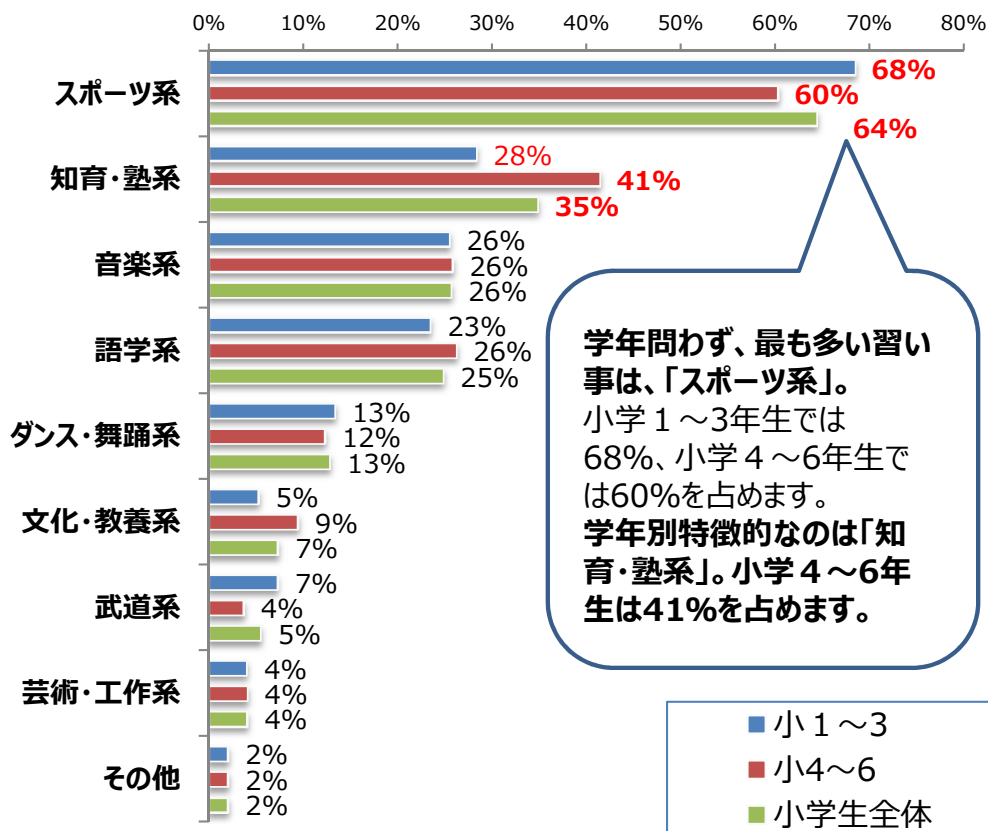


月の予算は、全体では、「**7,000円～10,000円未満**」が**32%**。次いで「**5,000円～7,000円未満**」29%。

**Point 2**

最も多い習い事は、「スポーツ系」64% 次いで「知育・塾系」35%(※小学4～6年生は41%)。各習い事で保護者が願う子どもの成長部分最上位は系統で異なるが、「礼儀」「忍耐力」「友達をたくさん作ってほしい」は全学年共通項目。

【グラフ5：何系の習い事をしてますか？※複数回答】



学年問わず、最も多い習い事は、「スポーツ系」。小学1～3年生では68%、小学4～6年生では60%を占めます。学年別特徴的なのは「知育・塾系」。小学4～6年生は41%を占めます。

**Q.それはどんな習い事?? ※フリー回答より多数派を抜粋**

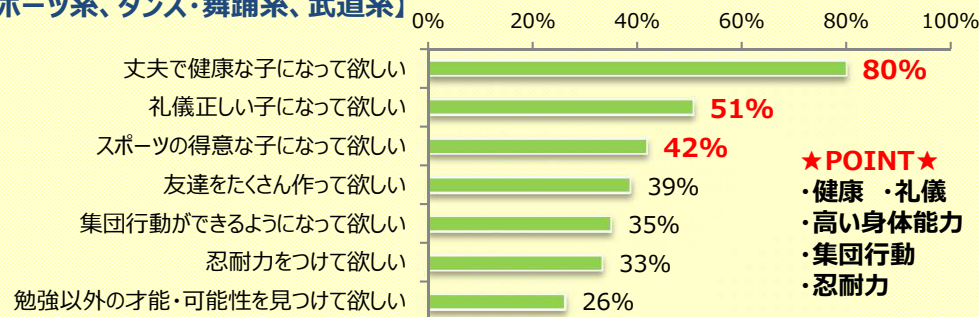
- スポーツ系 ⇒ 全学年スイミングが多数派⇒次いでサッカー、体操etc.
- 語学系 ⇒ 英語・英会話・公文・学研
- 音楽系 ⇒ ピアノ・エレクトーン・ヴァイオリンetc.
- 知育・塾系 ⇒ 学習塾・学研・公文・そろばん、通信教育etc.
- ダンス・舞踊系 ⇒ バレエ・ヒップホップ・チアダンス・新体操etc.
- 文化・教養系 ⇒ 書道など
- 武道 ⇒ 空手・剣道(少数)

**★習い事を通して、保護者が願う子どもの成長とは？**

※上位項目を表示。学年による差がほぼなかったため全体表示

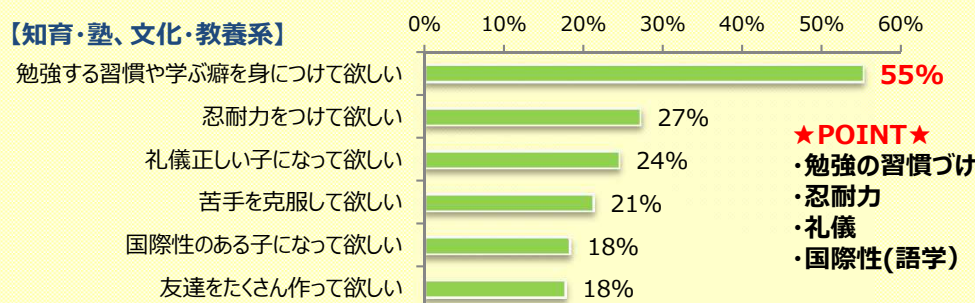
習い事をする中で、「友達をたくさん作ってほしい」「礼儀正しく、忍耐力(我慢する力・長く続けられる力)のある子どもになってほしいは、全学年共通の願いのようです。

【スポーツ系、ダンス・舞踊系、武道系】



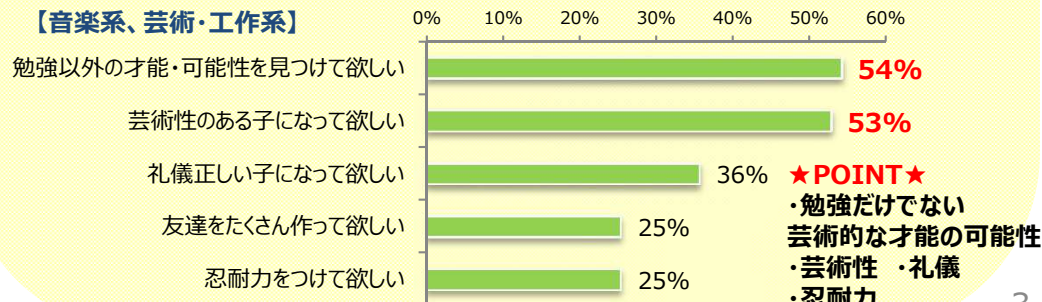
★POINT★  
・健康  
・礼儀  
・高い身体能力  
・集団行動  
・忍耐力

【知育・塾、文化・教養系】



★POINT★  
・勉強の習慣づけ  
・忍耐力  
・礼儀  
・国際性(語学)

【音楽系、芸術・工作系】

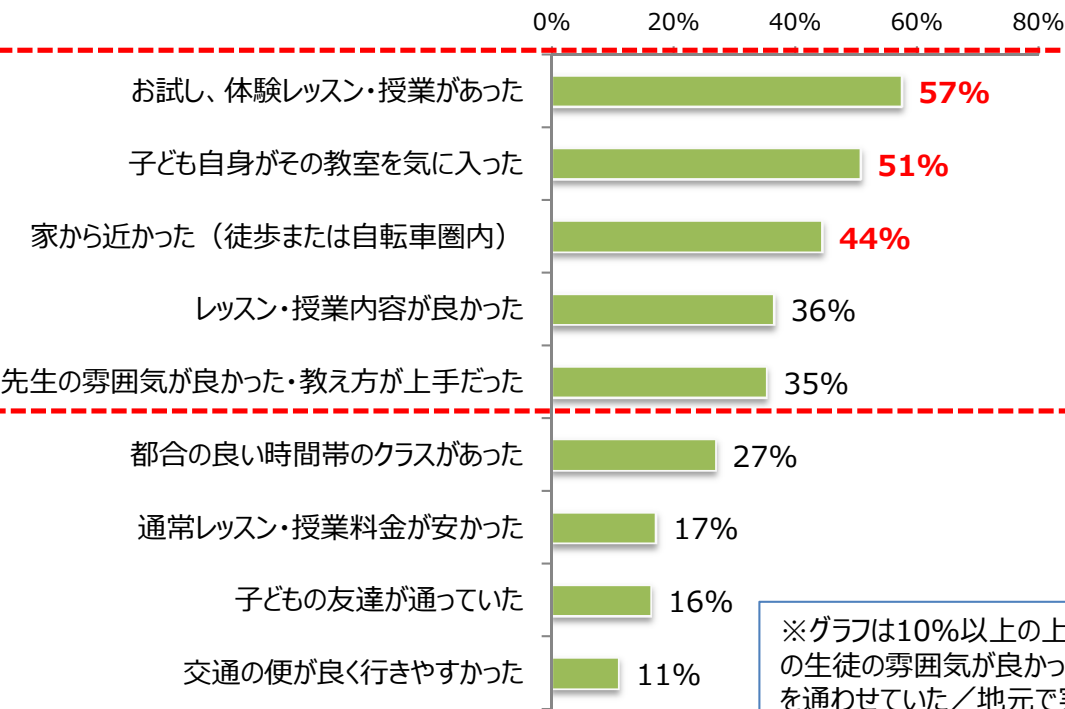


★POINT★  
・勉強だけでない芸術的な才能の可能性  
・芸術性  
・礼儀  
・忍耐力

**Point 3**

現在通っているスクール・教室を決めたポイントは「お試し・体験レッスン・授業があった」「子ども自身がその教室を気に入った」「家から近かった」。親だけでなく、子ども自身が自主的にいきたいと思えるか？を体験とともに確認しています。

【グラフ6：現在、未就学児のお子様を通わせているスクール・教室を選んだ理由は？※複数選択】



## 57%が「お試し、体験レッスン」を受けて、入校を決めています。

以下に続く、「子ども自身がその教室を気に入った」「レッスン・授業内容が良かった」「先生の雰囲気が良かった・教え方が上手だった」は、体験を受けてこそ、分かることといえそうです。

また、小学生になると学年が上がれば、一人で通う場合が増えるので、家から近く通いやすい範囲のスクールが探せるかどうかも保護者にとって重要なポイントです。

今回の結果では、料金面は最終的には大きな決め手とはなっていないことが分かりました。

※グラフは10%以上の上位項目を表示。10%未満項目＝制度・サービス内容が良かった／口コミ・評判が良かった／他の生徒の雰囲気が良かった／月のレッスン・授業回数が少なかった／紹介制度で紹介してもらった／自分の友達が子どもを通わせていた／地元で実績があった／月のレッスン・授業回数が多かった

★読者の'S Voice★（※抜粋）  
【体験して子どもを通わせなくなったポイント】

①先生の子どもへの接し方・教え方＝明るい・丁寧・優しい ②子どもが楽しそう・自分でやりたいと言ったこと

- ・「10回の体験ができ、楽しい時間が過ぎせ興味を持てたようです。強制ではなく自主的に通いたいと思えたことが大きいです。」
- ・「一度の体験以外にも低価格で参加できる体験にも数回通い、検討いたしました。」

- ・「先生の雰囲気や丁寧な説明、教室の雰囲気も良かったので。信頼して子供を預けられそうだなと思ったので。あとは子供が気に入って続けたいと希望したので。」
- ・「スポーツが苦手なタイプなので不安もありましたが、体験をさせたところ、同じレベルでのクラス分けがあるスクールでした。子供が「自分だけできない」という不安も払拭されましたので、安心して通わせることができるな、と入校しました。子供もとても体験が楽しく、なんだか自信がついたようです。」
- ・「塾で何件か体験に行ったが、パンフレットだけれてすぐ終わる所もあれば、より丁寧に説明してくれてとても感じの良い所もあった。職員の方々の雰囲気ですぐ決めました。」
- ・「体験して、具体的な内容や指導方法を確認できた。周りの友達が楽しく参加していることで、子供自身が参加しなくなった。」
- ・「体験レッスンが楽しかったので、ここなら頑張れそう続けられそうだと決めた。親としては子供が自力で通える場所ということが決めてでした。」
- ・「ダンス教室の先生がとても優しく接してくださり、周りの生徒たちも表情が良かったことと子供が楽しそうにしていたので決めました。」

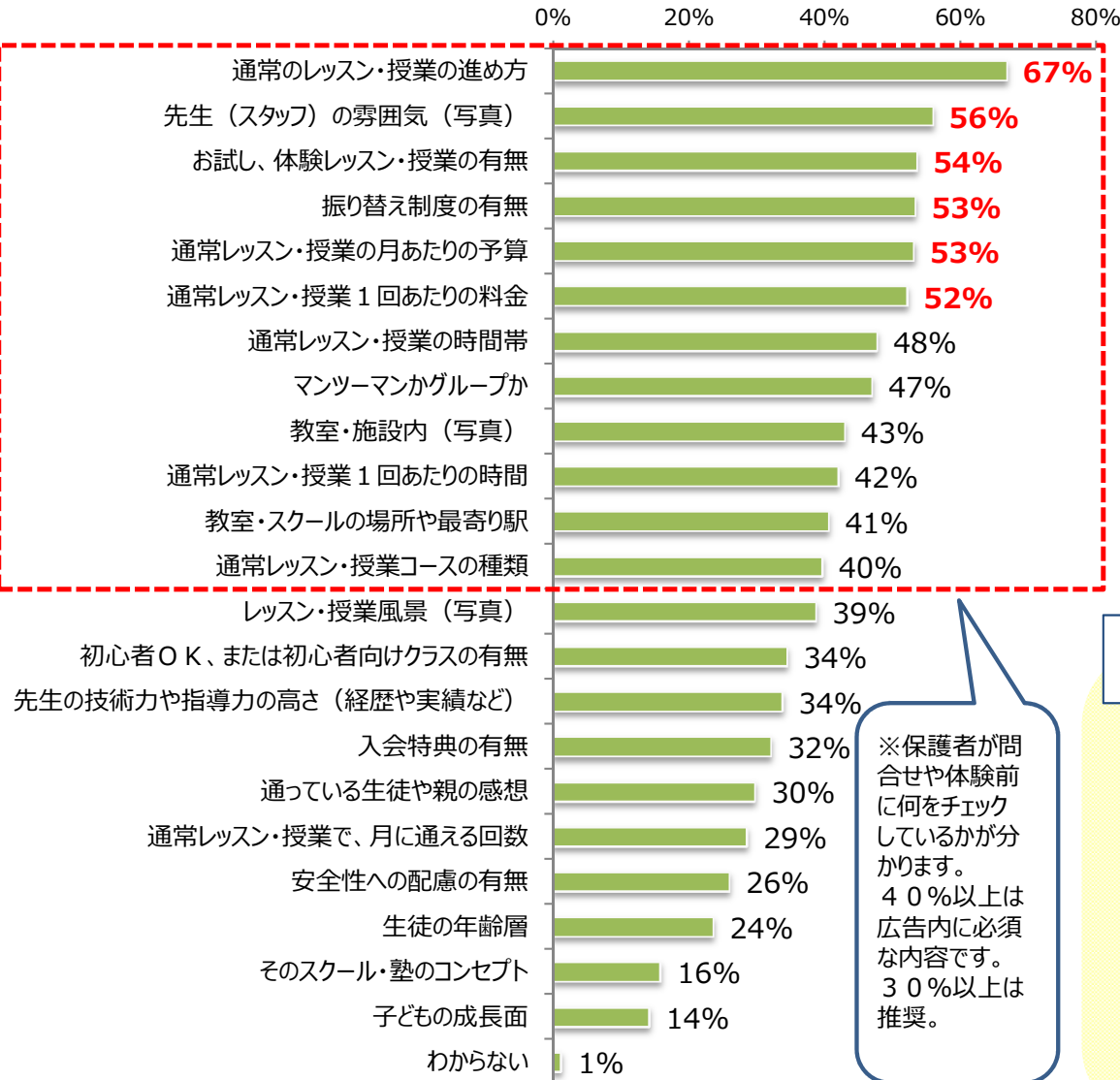


**Point 4**

子どものスクールを選ぶ際は、かなり詳細まで事前にチェック！①「通常レッスンの進め方」②「先生(スタッフ)の雰囲気」③「お試し・体験の有無」④「振替制度」⑤「通常料金」⇒通常の内容をある程度把握してから、体験に行く。

【グラフ7：スクール・教室に通わせるとしたら、事前に必ず知っておきたいことは？※複数回答】

(N：小学生の子どもがいる回答者(保護者)数424)



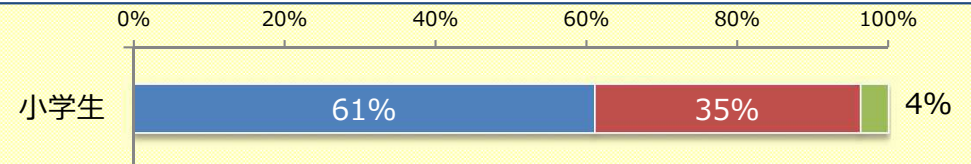
※保護者が問合せや体験前に何をチェックしているかが分かります。40%以上は広告内に必須な内容です。30%以上は推奨。

ほとんどの項目が30%以上を占めており、**お子様のスクール・教室選びは、細部まで詳細にチェック**する保護者の姿がうかがえます。

◆読者の声から見る、広告に必ず入れたい内容は？

- ①**通常のレッスンの進め方**⇒どんな風に教えてくれる？  
⇒3ページ目の保護者が願う子どもの成長を促すか？
- ②**教えてくれる先生やスタッフの写真**  
⇒体験前でも、顔が分かると安心できます。
- ③**通常レッスンの料金(予算)・時間帯・レッスン時間など詳細**  
⇒お試しや特別料金だけの表示はNG。
- ④**お試し・体験レッスンの紹介**  
⇒広告である程度希望条件が確認できたら、**直接見ないと分からない(レッスン、施設、スタッフなどの雰囲気、先生と子どもとの相性など)**は体験教室で確認 ⇒だから体験教室は掲載必須。

【グラフ8：新たに習い事のスクール・教室を選ぶ際に、お試し・体験は受けてみたいと思いますか？】



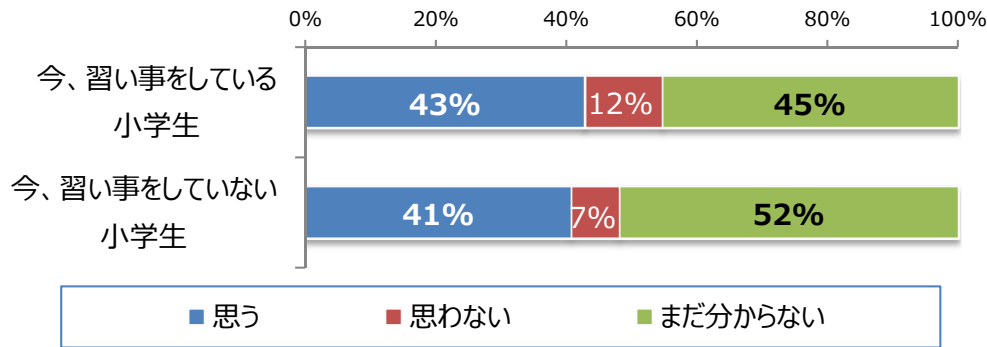
- 必ずお試し・体験レッスン・授業を利用してから通わせたい
- なるべくお試し・体験レッスン・授業を利用してから通わせたい
- 事前に内容や雰囲気がわかれば、お試し・体験レッスン・授業がなくても通わせる

必ず&なるべくを合計すると**96%の人が、スクール選びで「お試し・体験レッスン」を重視**しています！

**Point 5**

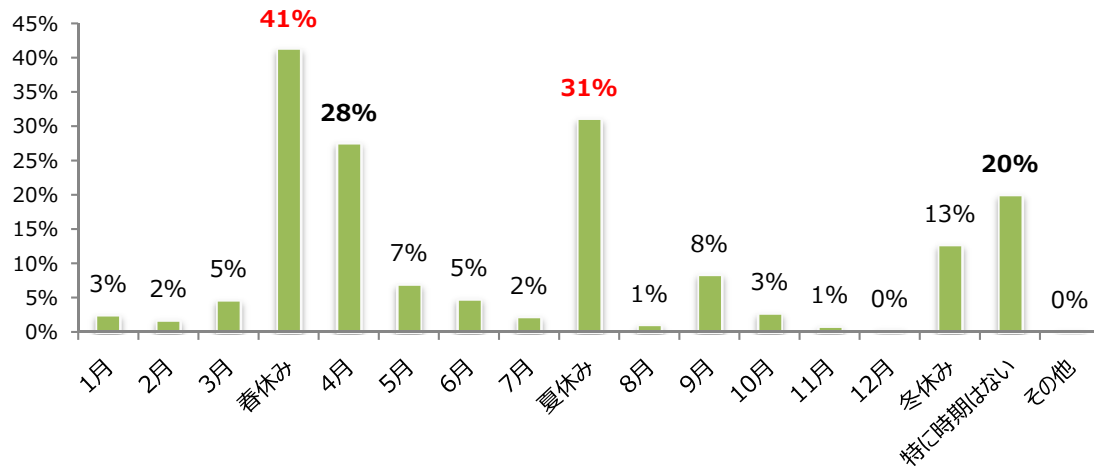
新たに習い事をさせてみたいと思う保護者は、今習っている子では43%、習っていない子では41%。習い事をさせるのによいと思う時期は、春休み41%、夏休み31%、4月の3回が高い傾向に。

【グラフ9：今後、お子さまに新たに習い事をさせてみたいと思いますか？】



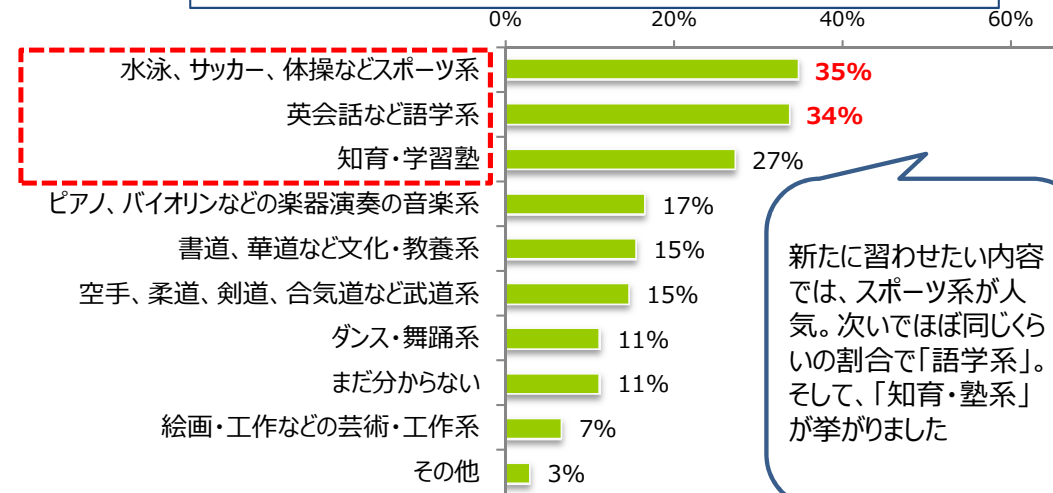
今習い事しているお子さまは43%、していない子は41%が**新たな習い事をさせたいと考えています**。「まだ分からない」が半数近く占めるのは、2つ以上習っている子も多いため(2P目参照)と考えられます。

【グラフ11：お子さまに習い事をさせるなら、いつごろの時期が良いと思いますか？】



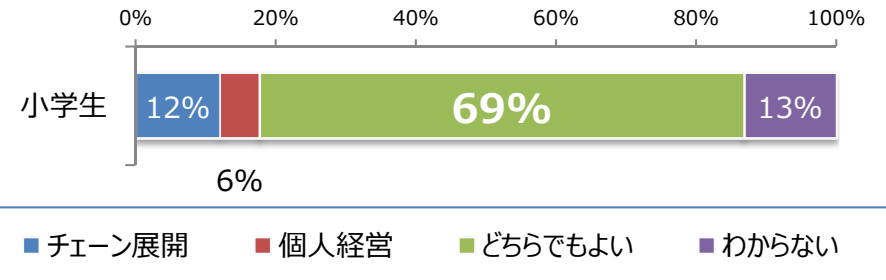
習い事をさせるのに良いと考える時期は、「春休み・夏休み・4月」の3回。学年の切り替わりまたは長めの休みに始めさせたいと考えているよう。また、時期は関係ないという人は20%。

【グラフ10：習い事をさせるなら、何を習わせてみたいですか？】



新たに習わせたい内容では、スポーツ系が人気。次いでほぼ同じくらいの割合で「語学系」。そして、「知育・塾系」が挙がりました

【グラフ12：お子さまのスクール・教室を選ぶとしたら、チェーン展開しているスクールと個人経営はどちらが良いですか？】



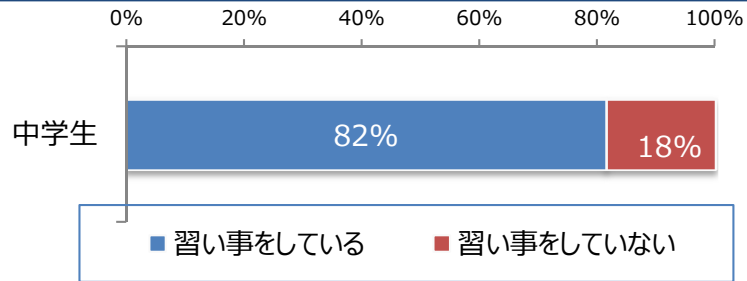
子どものスクールを選ぶ際は、チェーン展開や個人経営は「どちらでもよい」と思う保護者が69%。5ページ目の①「先生の教え方」②「先生と子どもの相性」③「子どもが(楽しく・長く)通えそうか？」④「場所(家から近い)・予算・日時」など、希望条件に合うスクールかどうか重要です。

# ◆子どもの習い事・スクール事情「中学生になると・・・」

補足

中学生になると、習い事の数が減り「1つ」が半数以上を占めます。習い事の内容は全学年「塾系」に集中。未就学児、小学生で人気のスポーツ系の習い事は、20%以下に

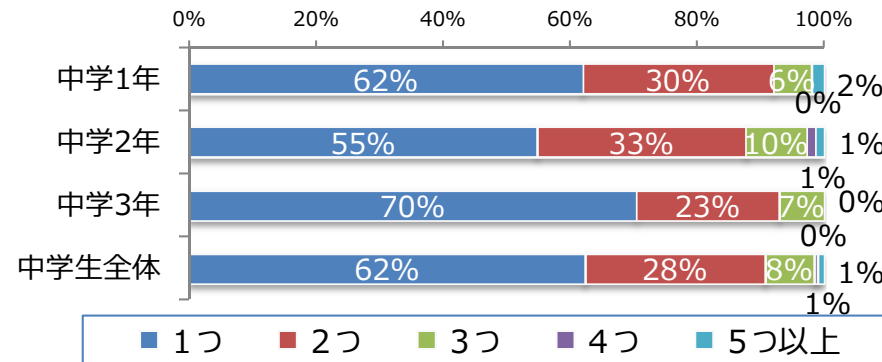
【グラフ13：現在、お子様は習い事をしていますか？】



(N：中学生の子どもがいる回答者（保護者）数227)

回答者の中学生の子どもは、**82%**が習い事をやっています。

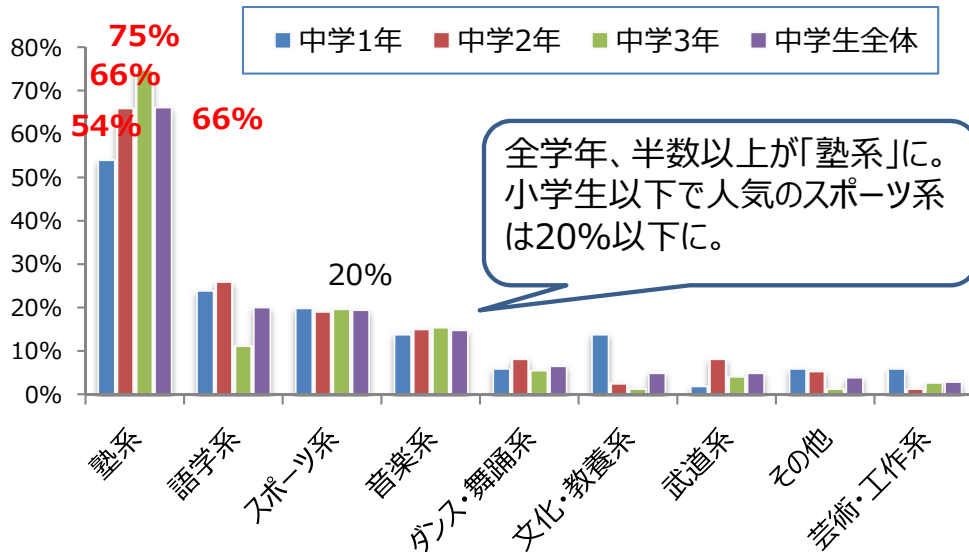
【グラフ14：習い事をいくつしていますか？】



(N：習い事をしている中学1年生50人／2年生70人／3年生73人)

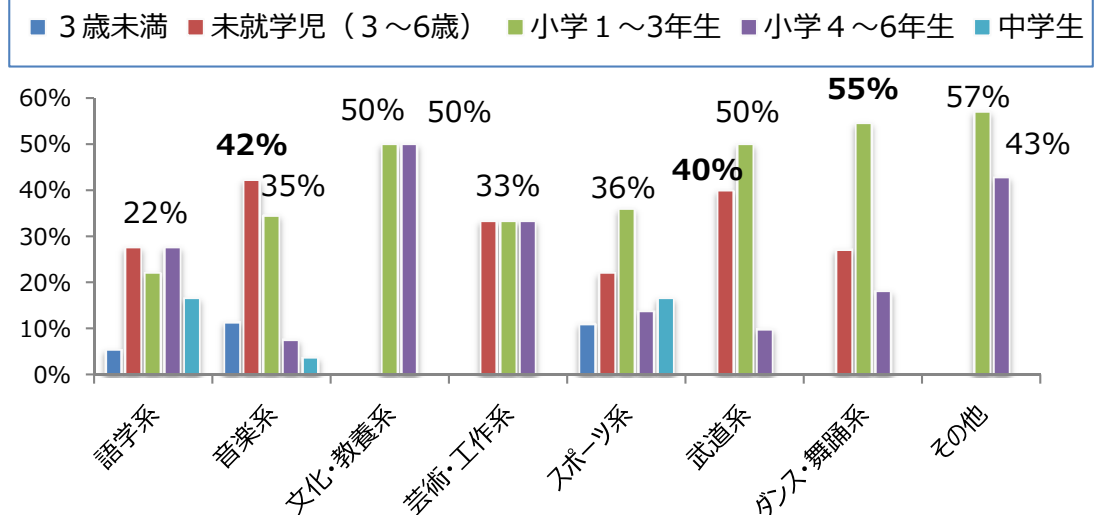
全体では、「**1つ**」が**62%**。中学生になると、どの学年も習い事は「1つ」が半数以上を占めます。

【グラフ15：なんの習い事をしていますか？】



全学年、半数以上が「塾系」に。小学生以下で人気のスポーツ系は20%以下に。

【グラフ16：塾以外の習い事はお子さまがいくつの時から始めていますか？】



今回の調査では、小学1～3年生スタートが多い結果に。音楽系は未就学児が42%。